



じょいんと通信 1月

第178号・湘南鎌倉人工関節センター・2021年1月



2021年 明けましておめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

おめでたくない新年を迎えました。COVID-19に世界中が翻弄されつ放し。

ワクチンの安全性がある程度確立され、治療薬も出てきて初めて元に近い日常生活が送れます。私からすれば2年程度が必要になるという予測です。

インフルエンザワクチンも、どんな薬にも副作用はあり、アナフィラキシーのリスクも常に一定の率で存在します。ワクチンは何回打てばよいのか？もわかりませんし、インフルエンザA,B型のように、変異種も含んだワクチンが開発されるまで接種を見合わせる人々もいるでしょう。小さなお子さんへの接種をご両親の判断で延期するのは間違いありません。

日本人は、安全性を求めるレベルが大変高い民族のため、世界中で最も遅い日常生活復帰になると予想するリサーチ会社もあります。できるだけ早く国民全体にワクチンが広まるよう専門家と政府による細かな説明が必要で、リスクを数値で示し、ワクチンが社会全体に与える良い効果を徹底して解説し国民に理解をしてもらうことが重要です。

いつになるの？・・・心配なのは皆同じです。

本年もスタッフおよびその家族も引き続き感染対策に努め、万全の態勢で手術に臨めるよう努力してまいります。

院長 平川 和男

新年あけましておめでとうございます。

2021年を迎え、あらためて気が引き締まる想いです。去年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界中をかけめぐり、不安の多い1年でした。新しい年を迎えても感染の不安はつきません。長い長いトンネルに入ってしまったような気分です。

そのような中でも感じたことがあります。昨年、コロナ禍で「鬼滅の刃」という漫画が流行しました。みなさんもお覧になった人が多いのではないのでしょうか。家族や仲間同士の絆を描いた作品ですが、日本中がいまだに熱狂しています。短期間で興行収入は300億円を超えたそうです。

これはひとつの例ですが、苦しい中でも人間は新しい喜びや希望をみいだしていくものだと痛感させられました。今あるこの試練は新しいものを生み出すためのものと考えていきたいです。今年も私たち人工関節センターは、皆さんの明るい希望になれますように更なる前進をしたいと思ひます。

本年もよろしくお願ひ致します。

総看護師長 工藤 留理子

手術をお考えの患者さんへリハビリDVDのご案内

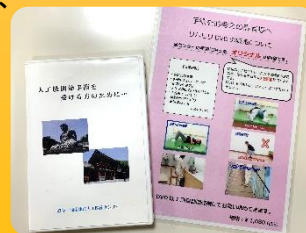
「よし、リハビリ運動をやろう!」と思ったとき、運動内容をすっかり忘れてしまったり、あやふやになってしまったことはありませんか?

ご自宅でいつでもリハビリ運動を確認できるよう、リハビリ用DVDで確認しましょう。

当センターの手術に沿ったオリジナルの内容となっており、手術前の準備や、術後の注意点、退院後の生活など、皆さんがご不安に感じられるであろう疑問点を網羅したものとなっています。

1階自動販売機にてお買ひ求めいただけます。

価格: ¥1,080円



▼ 発行元:
湘南鎌倉人工関節センター
〒247-0061
神奈川県鎌倉市台5-4-17
電話: 0467-47-2377
FAX: 0467-47-2370

▼2020年12月手術件数
(単位: 件)

人工股関節置換術 : 48
人工股関節再置換術 : 0

▼ 1月外来休診日
1月1日(金)

▼ 1月外来追加日
1月4日(月)

<https://www.skjrc.jp/>

